

14. 核兵器増強をうち出した英国の政策見直し



英国は、2021年3月16日に公表した中長期的安全保障政策の統合見直し報告書「競争時代におけるグローバルな英国」で、保有核弾頭数の上限を260発に引き上げた。これは、これまで英国がとってきた核軍縮の方針を転換するもので、NPT第6条やNPT再検討会議における核軍縮の合意に反するものである。本節では同報告書のうち、核抑止政策に関する部分を抜粋する。

❖ 競争時代におけるグローバルな英国：安全保障、防衛、開発、外交政策の統合見直し（抜粋）❖

核抑止（略）

2021年3月16日

英国の最小限で確実性と信頼性のある核抑止力

我々の核兵器の基本的な目的は、平和を守り、強制されることを防ぎ、侵略を抑止することにある。最小限で信頼性があり独立した核抑止は、NATO防衛を任務とし、我々と同盟国の安全を保証するために必要不可欠なものであり

続けている。2010年、政府は核弾頭の備蓄総数の上限を、2020年代半ばまでに225発以下から180発以下に引き下げる意向を表明した。しかし、技術上・ドクトリン上の脅威の拡大など、変わりゆく安全保障環境に鑑みて、上述の引き下げはもはや不可能であり、英国は260発以下の核兵器備蓄総数へ移行する。

我々の抑止力が、潜在的な敵による先制攻撃に対して脆弱でないよう確実にするため、我々は4隻の潜水艦を維持し、それによって、少なくとも1隻の潜水艦が連続航行抑止力（CASD）哨戒をできるようにする。哨戒を行う我々の潜水艦はミサイル発射の数日前に発射命令を受ける態勢にある。そして、1994年以来、我々のミサイルはどの国をも標的にしていない。我々は、あらゆる方向から来る国家保有のあらゆる核の脅威に対して、英国の核抑止が信頼でき、効果的であり続けることを保証するのに必要な最小限の破壊力を維持し続ける。

（略）

英国の核兵器政策

英国の核兵器は、作戦上独立しており、首相のみがその使用許可の権限を持つ。これによって政治統制が常に維持されることを確保する。我々は、NATO同盟国の防衛を含む、自衛のための極端な状況においてのみ核兵器の使用を考慮する。

必要であれば、それを実行に移す我々の決意と能力に疑う余地はないが、一方で、我々が具体的にいつ、どのように、どの規模での核兵器の使用を考えているかについては、意図的にあいまいにし続ける。変化を続ける安全保障・技術環境に鑑み、我々は長年の意図的あいまい政策を今後も維持し、運用可能な核備蓄数、配備された弾頭数、配備されたミサイル数などの数字は公表しない。このあいまいさは、潜在的な侵略者の計算を複雑にし、先行攻撃の利を得ようとする敵の意図的な核使用のリスクを軽減させ、戦略的安定に寄与する。

英国は、1968年の核不拡散条約（NPT）に加盟するなどの非核兵器国に対しても、核兵器を使わず、または、使うと脅さない。この保証は、不拡散義務の重大な違反を犯している国には適用しない。しかし、化学・生物兵器などの大量破壊兵器や同等の影響を及ぼしうる新たな技術の将来の脅威が見直しを必要とする場合にそなえ、我々はこの保証を見直す権利を留保する。

NATO、米国およびフランスとの協力

（略）

1962年以来、英国の核戦力はこの同盟（注：NATO同盟）を防衛するためのものだと英国は宣言してきた。我々はこれを続け、欧州およびヨーロッパ大西洋の安全を守る。（略）

核の協力は、米国と英国の関係の重要な要素であり、大西洋をまたぐ地域の安全を強化している。我々は、核抑止政策を含む核の問題について、米国と緊密に協力し続ける。1958年の相互防衛協定（MDA）は、我々共通の核の安全

という目標の中心にあり、我々は2024年のMDA更新を確約する。

欧州の核保有国であるフランスと英国は、1995年以来、どちらか一国の死活的利益への脅威が、他の一国の死活的利益への脅威とならない環境にはないと考えると述べてきた。我々は核の問題に関して日々前例のない協力を続ける。その協力には、2010年のテウタテス条約の下での両国の協力が含まれる。

我々の未来の能力

（略）

英国議会は、核抑止力を更新し、バンガード級潜水艦を4隻の新しいドレッドノート級潜水艦に置き換えることを可決した。このプログラムは予算の範囲内に収まっており、一番艦が2030年代初頭に就役する方向で進んでいる。

ドレッドノート級の就役期間を通して効果的な抑止力の維持を確実にするために、我々は既存の核弾頭を新品に置き換える。我々は、これを供給するのに必要な、そして既存の核弾頭が退役するまでそれを維持するのに必要な高度な技術をもつチーム、施設、能力を構築するために核兵器機関（AWE）と協力する。米国との協力はMDAと1963年のポラリス販売契約によって支えられており、英国は、自国の核弾頭とトライデント戦略兵器システムの互換性維持を確保するために米国と緊密に協力する。（略）

軍備管理、軍縮、不拡散：我々の国際条約への誓約（略）

出典：英国政府HP
<https://www.gov.uk/government/publications/global-britain-in-a-competitive-age-the-integrated-review-of-security-defence-development-and-foreign-policy>
アクセス日：2022年1月30日